



双塔

カトリック新潟教会

2018年6月
No. 361

父の日

協力司祭 ロレンゾ・ホセ・ルイス

今年は6月17日が「父の日」になっています。

80以上の国は6月の第三日曜日に「父の日」として祝っていますが、別の日に記念している国もあります。たとえば、スペインポルトガルの父の日は3月19日です。これは聖ヨゼフの祝日です。実は中世から、ヨーロッパにはこのお祝いがありました。聖ヨセフこそ、「父」の模範を私たちに見せてくださいました。彼がお父さんたちの保護者にもなっています。

インターネットで調べてみたら、このことが書かれていました。“古来、子供の為にムチや斧を持って獲物を狩りに行く男性の姿から「父」という漢字が生まれました。”（参考：okjiten.jp）

確かに、「父」の印象としては子供を守る姿になっています。今回の「父の日」に私たちの実際のお父さんたちだけではなく、教会の指導者たちと天の父のことも忘れてはいけません。教皇様の一つの呼び方は「パパ様」です。なぜかという、やはり、彼こそ教会全体のお父さんになっています。私たちの信仰を指導して、守っている方です。それに、小教区の司祭たちや私たちの個人の霊的指導者たちもある意味では「父」の役割も果たしていると思います。

最後に、天の父のことも思い出さなければなりません。いつも、“主の祈り”の時に、私たちは天のお父さんに祈っていますが、個人的に、私たちは神様についての自分のイメージはどうなっているのでしょうか。イエス様のたとえ話のなかで、神様が私たちが愛しているお父さんの姿は「放蕩息子」のたとえ話にあるにちがいないです。実は、このたとえ話は、「憐れみ深い父」のたとえ話、というタイトルも良いと思います。天の父は私たちのことを愛しています。いくら、罪を犯しても、どんな悪いことをしても、天の父の愛は変わらないということです。ある聖書の専門家によると、もしも聖書のすべてはなくなっても、このたとえ話しか残っていなかったとしても、キリスト教のメッセージは十分伝えられるとのこと。

「父の日」にはお父さんたちに神様の数々のお恵みがありますように。

■ 鎌田神父様司祭叙階 60 周年 記念ミサ・祝賀会 ---- 4 月 30 日（月・祝）11：00 ----

好天に恵まれ、近隣の小教区を中心に 100 名ほどが鎌田神父様のダイヤモンド祝に参集した。記念ミサは菊地大司教様の主司式。説教では、司祭の 3 つの役務、すなわち「福音を宣教すること」「信者を司牧すること」「神の祭礼を執行すること」を挙げられ、鎌田神父様のこれまでの教会への奉仕と、現在なお「生きる姿勢」の模範を示しておられることへの謝意を表された。また新潟教会はじめ各教会からお祝いの霊的花束が贈られた。

ミサ後の祝賀会の席上、鎌田神父様は自身の召命について「青年時代まで近所にキリスト教の教会がなかったため、司祭になることなど考えもしなかった。その、なるつもりがなかった司祭にしていただけだから、まさしく“あなた方がわたしを選んだのではなく、わたしがあなた方を選んだ”というみ言葉の通りで、金祝の時まで記念のご絵にはこのみ言葉を記してきた。しかし今回は、エマオの二人の弟子の言葉を記した。それは、人生の夕暮れが近づいた今の心境でもある」と話された。

祝賀会の後半には菊地大司教様の伴奏で「主とともに」を一同で歌い、散会した。

■ 聖霊降臨の主日とラウル神父様司祭叙階記念のお祝い---- 5 月 20 日（日）9：30 ----

澄み切った青空のもと、ルルドの前でロザリオの祈りを唱えたのち、聖霊降臨のミサがラウル神父様の司式で執り行われた。説教の中で、聖霊の力、大切さについて以下のように説明され、私たち一人一人の人生に聖霊の働きがあることに感謝するよう話された。

+聖霊は私たちを慰め、強め、私たちの中に神の許しを告げる。そして私たちが主であるキリストを信じるように導いてくださる

+聖霊は十字架につけられたキリストが私たちの救い主、神様の無限の愛の印であることを教えてください、聖霊の働きがなければ私たちは信仰を持つことができない

そして聖霊降臨は、教会の誕生、教会の活動の始まり、教会生活の基盤であることから、教会のお祝いであるとも話され、私たちはイエス様のメッセージを広めていくように招かれているので聖霊の働きを願いたいと結ばれた。

ミサ後、ラウル神父様に霊的花束を贈呈後、センター 1 F で茶話会が催され、和気あいあいと語り合い、「聖なる息吹よ」を合唱して聖霊降臨の主日を祝った。

あゆみ

No.90 小教区評議会

講座「知ってるつもり?! 典礼のしるし、ことば、動作」

指 導 主任司祭 ラウル神父

開催日時 2018年6月9日（土）午前10時～11時

会 場 カトリックセンター研究室

※ 『聖ヒッポリュトスの使徒伝承』を手掛かりに典礼について学びます。

どなたでもお気軽にご参加ください。いつからでも OK です。

【教皇フランシスコのことば】

「神はご自分のゆるしといつくしみを世に伝える人々を必要としておられます。」

(2018年5月20日のツイートより)